

努力は裏切る！



神様はいる！～部活動は人づくり～

「あなたは神様を信じますか？」と、渋谷のハチ公前で言われた。「なんだこいつ」と思ったのが今から○十年前。日体大1年生の時だった。元来、信仰心や宗教にさほど興味はなかったから、「神様なんかいるか！」と思っていた。しかし、最近になって「神様はいる！」と思うようになった。

様々な試合で「負けるはずがない」と思いつつ何度も涙をのんだ。その逆で、「最後の最後の大逆転勝利」も経験した。「勝利は時の運」というが、どんな時に運が向き、神様は味方をするのだろう。「人に対して優しくできる」、「トイレのスリッパを並べる」、「ゴミが落ちていたら拾う」、「正義の味方、正直な人」…。そんな人しか神様は味方しないのではないだろうか。また、試合会場で観客の人たちが勝たせたいと思う人、正しく一生懸命な人に、きっと神様は味方するのではないか。運悪く負けることがある。そんな時「あいつのせいで負けた」と思うのではなく、我が身を振り返る。「あの時スリッパを並べなかった…」、「人に意地悪をした…」など。そんな人に神様が味方するはずがない。

今年の中体連、団体九州大会2位、予選で勝ったチームに決勝で負けた。全国大会ベスト4を目指してきたが、県中体連でも決勝でそのチームに負けたため、全国の舞台にすら立てなかった。全国大会の会場で様々な監督に「え？出てないの？」と聞かれた。返答に困り、「神様が味方しなかった」と答える自分がいた。私にも、子どもたちにも、何かが足りていなかったのだろう。

運は悪いよりよいにこしたことはない。そのためには、日常の生活を見つめなおし、運が悪いのを人のせいにせず、我が身を振り返る。試合会場でみんなが「勝たせたい」と思ってもらえるようなチーム作りを心掛けたい。また、そんな人づくりができる「指導者」として頑張りたい。『部活動は人づくり』これをモットーに、これから先も「神様が味方してくれる」ような人、「会場が応援してくれる」ような人、そしてチームづくりを目指していきたい。



チャンスの神様

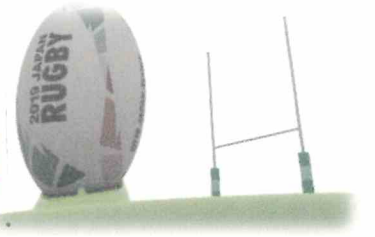
上に紹介したのは私の先輩の先生が書かれたもので、私自身も同様の気持ちで部活動に携わってきました。これは、何事も部活動だけに言えることではなく、様々な集団生活の場面においても重要なことなのだと思います。

私の青春時代の名曲です！♪ノースサイド～松任谷由実～♪

のちに 私は、この歌詞の主人公(ラグビー選手)の大学の後輩になりました。

彼は目を閉じて 枯れた芝生の匂い深く吸った
長いリーグ戦締めくくるキックは ゴールをそれた
肩を落として土を払った 穏やかな冬の日の黄昏に
彼はもう二度とかぐことのない風 深く吸った
何をゴールに決めて 何を犠牲にしたの 誰も知らず
歓声よりも長く 興奮よりも速く 走ろうとしていたあなたを 少しでもわかりたいから…

ONE TEAM!



努力は裏切る！

中体連！この思い出しは心の中で色あせることなく、鮮明に焼きついた青春そのもの…。中学3年生、入学してから結局一度も勝つことができなかった学校がありました。厳しい稽古では、何度も泣きました。

逃げ出したこともありました。何度も何度も「やめたい」と思いました。だけど、いざいざで〇〇中に勝ちたい！と、思っている自分がありました。それで最後の挑戦の試合が中体連でした。団体戦、失速から大逆転で5人の関の、内容を40年以上経たず今でも映像で見ることができ、最後の試合で勝つことができました。優勝した瞬間には涙がとろりませんでした。仲間たちと一緒に監督(当時100kg)と泣きながら抱き合っていて、すごく重かったこともよく覚えていて、私の青春の全てがそこにありました。

“努力は人を裏切らない”という言葉をよく耳にします。本当にそうかなあ…と思います。

努力は裏切りますよ。ただしそれは「結果」という部分において！です。私も、たいてい努力せずに試合で勝つことが何度かあります。私の運で必死に努力していた人に勝つこともありました。逆に「人生でこんな時に頑張ったことばい」と思いついて試合に負けたこともあります。だけど…まあいいから言えることがあります。

それは「努力した姿」です。この姿は、人生においてその人を裏切ることはない！ということです。だからその人は努力をするのだと思います。

人が頑張る時、どんな時でしょう… 何かに一生懸命になっている時、頑張っている時だとも思います。それは、自分自身が頑張っている時でしょうか？ あの日あの涙があったから。あの日あの人が泣いてくれたから。あの日あの喜びがあったから。あの日あの人が寄り添ってくれたから…

今年の中体連、おかげでみんなの努力は「結果」として裏切られることがあるかもしれません。だけど、本当に、みんなの努力は、おとちやうとろで報われると思います。この道のりの中で、どんな出会いがあったのでしょうか？ どんな人の感謝を味わってきたのでしょうか？ 今大切にすべきは、自分と向き合ってきた人にもっと感謝の気持ちを伝えることです。